

県外先進校の視察研修より パート1

大阪府四條畷市立四條畷中学校の取組から学ぶ

学校長の明確なビジョン&学習活動の具体化

☆校長通信・大学教授の招聘
☆校長の授業参観&対話

☆学力向上担当者からの提案
☆授業者の日々の授業づくり



★生徒に考えさせる授業づくりをイメージ!

- ・50分間、**生徒を寝させない授業の手立て**を求める。
- ・生徒に任せ、**自由に動いてもよい学習活動**を設定する。
- ・4人グループで学び合う協同的な学習を仕組む。

★行事と共に学ぶ生徒を意識して、育てる!

- ・取組の中で、生徒の**非認知能力**を育てることを意識する。
(例：自信、やる気、粘り、精神力、対応力、協調性、自制心、リーダーシップ、創造性等、生徒の姿から見取る。)

★特別支援教育の視点をもって指導にあたる!

- ・なぜ、関係が悪いのか、なぜ定着しないのか、授業構成をしっかりと考える、「困っている子」という視点で探る。

★朝読書は読書習慣のきっかけ!

- ・読書は知識や教養とともに心や思考の柱をつくる。

★家庭学習の必要性を説く!

- ・エビングハウスの忘却曲線等の理論で裏づける。

★保護者・地域等との連携を重視!

- ・図書館開放、テスト前学習会などにボランティアとして参加してもらう。

授業改革で実践化

<4人グループでの協同学習!>

4人に対して、司会や発表者をくじで決める等の役割を与える!班内で相談自由。人任せにならないシステムの工夫がある。ただし、ワークシートは、1人1枚ずつ書くなど個人作業もある。



〈導入の工夫!〉
導入で、グループ競争を取り入れ、前時の復習や学習クイズを行って学級の雰囲気を取り上げたり、意欲づけを行う。



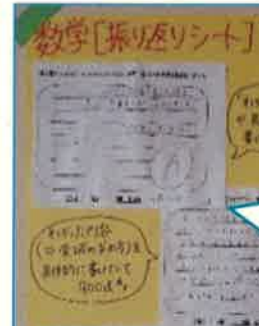
<前で発表する!>

小学校同様、目的に応じて、前で、黒板を使って発表する。



<授業の振り返りは必ず、行う!>

自分自身の学習をメタ認知させる。どんな振り返りが望ましいか、具体的なイメージがもてる事例を示すことで意欲づけを行う。



職員の意識

理論的な裏付けをし、全職員で何度も繰り返して、学校のビジョンを確認する!